

鳥取県内の公共建築物の整備における県産材活用の事例

<ポイント>

- 『公共建築のための鳥取県産材活用推進プログラム』において、県産材を活用した公共建築物の整備を推進
- 木造化・県産材活用の推進による自然環境保全機能の確保、木質資源を活かした地域経済の活性化を推進

県産材活用の基本方針と整備事例

基本方針

鳥取県は、次に掲げる基本方針に基づき、鳥取県産材の活用を基本とした公共建築の整備を推進し、県産材の魅力と活用方法の情報発信に取り組みます。

<公共建築整備基本方針>

- 使用する木材は原則として全て県産材とします。
- 建物は主要構造部を木造とすることを基本とします。
- 建物の内外装材、家具等に積極的に県産材を使用し、県産材の特性や魅力を発信します。
- 木造建物の長寿命化を目指します。

▼県産材使用プレート



県産材を利用した施設や新たに建設する施設に県産材を使用した部位等を表示し、県民の方々に県産材に関心を持っていただくようPR。

整備事例<複合施設>

キナルなんぶ(県産材CLT使用)



「多世代が多目的に交流できる場」として、令和2年に開館。壁仕上げ材や本棚などに南部町内のCLT工場で製造された県産材CLTを使用。

整備事例<学校>

県立鳥取西高等学校芸術棟(県産材大断面集成材使用)



国指定史跡「鳥取城跡」に整備された伝統校舎の改修に併せて増築。構造材及び内装材に県産材を使用。手刻み加工や左官仕上げを採用するなど、伝統技能の魅力を発信。

<今後の展開>

- 今後も公共建築物の構造や内装に県産材をはじめとした木材を率先して利用し、県産材のさらなる需要拡大を図る

民間施設の内装木質化や「とっとり木のおもちゃ」の貸出による県産材の利用推進

<ポイント>

- 民間企業等のモデル的な木造化・内装木質化を支援することで、非住宅分野での県産材利用をPR
- 県産材を使用して製作した「とっとり木のおもちゃ」を保育施設等に貸し出すことにより、木育を推進

県産材利用促進に向けた非住宅建築モデル推進事業

<事業内容>

民間企業等が県産材を効果的に使用して、非住宅建築の木造化・内装木質化のモデル施設として整備し、併せて県産材の普及活動を支援することにより、民間企業等の非住宅建築における新たな県産材の需要拡大を図る。

- ◆補助率 ①木造化：補助単価16,000円/m³(上限500万円/件) ※③とセットで実施
- ②内装木質化：1/2(上限150万円/件) ※③とセットで実施
- ③県産材普及活動：1/2(上限25万円/件)

<とっとりカーボンストレージ認証制度>

県産材を利用した非住宅建築物のCO₂固定量を算定し、企業の取組を顕彰す



とっとり木のおもちゃ貸出事業

<事業内容>

子どもたちが木を身近に感じ、親しむ機会を設けることで、豊かな心を育むとともに、県産材の一層の利用を推進するため、県産材等で制作した「木のおもちゃ」の貸出を行う。

<貸出対象者>

- ・保育園、幼稚園、子育て支援センター等の保育施設
- ・子育て、森林・林業・木材関連イベントを実施する団体等

<貸出期間> 原則2週間

<貸出料> 無料



<今後の展開>

- 非住宅における木造化・内装木質化の普及啓発を図り、県産材の新たな需要を創出する
- 木育の全県展開を図る取組を推進する

県産材を活用した木造住宅への支援

1 県産材を活用した新築住宅への助成制度「住まいる支援事業」(H14～)

- 木材利用の推進と地場産業の活性化を目的として、最大100万円を助成
- “十分な予算措置”と“年中いつでも申請できる”使いやすさが県内工務店から好評
- 木造戸建住宅での利用割合は、平成19年度の22%から令和2年度は44%に増加

2 とっとり健康省エネ住宅「NE-ST」(R2～)

- 国の省エネ基準を上回る県独自の高性能省エネ住宅「とっとり健康省エネ住宅」の普及を促進するため、住まいる支援事業に最大50万円の上乗せ助成を開始
- 新築住宅における割合は、令和2年度の14%から令和3年度は23%に増加

区分	国の省エネ基準	ZEH (ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅性能基準		
			T-G1	T-G2	T-G3
基準の説明	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	冷暖房費を抑える ために必要な 最低限レベル	経済的で快適に 生活できる 推奨レベル	優れた快適性 を有する 最高レベル
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
世界の省エネ 基準との比較					

3 木塀の普及・促進(R2～)

- 令和2年度から「住まいる支援事業」のメニューに県産材を活用した木塀を追加し助成
- 地震に対する安全性向上、鳥取の美しい景観になじむ木塀の事例集等を作成し、普及・促進を図る

宣言項目：6, 8

鳥取県内におけるCLT活用建築物

日ノ丸産業(株) 新社屋 (鳥取市)



設計監理：白兎設計事務所 (県内事業者)

規模：4階建

延べ面積：1,481m²

木材数量：683m³ (うちCLT：281m³)

竣工年月：令和3年8月

その他：日本初の木質2方向ラーメン構造を用いた
純木造の4階建て事務所

床・屋根に国産スギCLTを使用

「砂丘カフェ」 (仮称) (鳥取市)



設計監理：隈研吾建築都市設計事務所

規模：鉄筋コンクリート造+CLT 2階建

延べ面積：190m²

木材数量：104m³ (うちCLT：39m³)

竣工年月：令和4年7月 (予定)

その他：CLTには県産原木を県内でラミナ加工した
ものを使用予定

砂丘の景観にマッチした外壁にCLTを使用